

病害虫発生予察注意報 第2号

病害虫名：斑点米の原因となるカメムシ類

1 発生予想 斑点米の原因となるカメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

2 対象地域 県内全域

3 根拠

- (1) 6月下旬に実施した畦畔でのすくい取り調査(ネット 20 回振り)では、斑点米の原因となるカメムシ類(以下「斑点米カメムシ類」)の捕獲地点率が全域で 83.9% (平成 54.9%) と高く、1 地点あたりの平均捕獲頭数も 12.3 頭(平成 4.4 頭)と多かった。県内における主要種であるアカヒゲホソミドリカスミカメに加え、アカスジカスミカメの捕獲が目立った(表1)。
- (2) 7月上旬に実施した本田でのすくい取り調査(ネット 20 回振り)では、斑点米カメムシ類の捕獲地点率が全域で 69.4% (平成 38.2%) と高く、1 地点あたりの平均捕獲頭数も 6.1 頭(平成 1.1 頭)と多かった。県内における主要種は、従来から確認されているアカヒゲホソミドリカスミカメに加え、アカスジカスミカメの捕獲が目立った(表2)。
- (3) 県内6カ所に設置した予察灯の調査において6月第2半旬以降、アカヒゲホソミドリカスミカメは上田市、伊那市、南木曽町、須坂市の4地点で平成と比べ多く、アカスジカスミカメは上田市、伊那市、飯田市、須坂市の4地点で、平成と比べ誘殺頭数が非常に多かった(表3)。
- (4) 7月10日に気象庁が発表した向こう1か月の予報によると、晴れの日が平成並に多く、気温は平成と比べ高くなる見込みである。このため、斑点米カメムシ類の活動が今後さらに活発化すると推測される。

4 防除対策と留意点について

- (1) 斑点米カメムシ類は、主に出穂期以降に水田内へ侵入するため、一般に出穂の早い品種(あきたこまちや酒米)では被害を受けやすくなる傾向がある。これらの品種を栽培する場合は、特に注意が必要である。
- (2) 出穂期前後の畦畔の草刈りは、雑草に生息する斑点米カメムシ類を水田内に追い込む可能性があるため、原則として実施しないことが望ましい。やむを得ず草刈りを行った場合は、直ちに本田での防除を併せて実施すること。また、登熟期間中(特に乳熟～糊熟期)の畦畔の草刈りも同様に注意が必要である。
- (3) アカスジカスミカメは、ノビエやホタルイの穂を好むため、水田内の除草を徹底し、発生源の除去に努める。
- (4) 本田防除において粉剤や乳剤を使用する場合は、出穂後 10 日目を目安に実施する。なお、斑点米カメムシ類の発生が多い地域では、さらに7～10日後(出穂後 17～20 日目)に追加防除を行うことが望ましい。
- (5) 薬剤散布に際しては、すくい取り調査等により発生種を把握したうえで、適切な薬剤を選定する。また、農薬の安全使用基準を遵守し、農薬による危害の防止に努める。薬剤による防除については、「令和7年長野県農作物病害虫・雑草防除基準」(<https://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/nouyaku.html>)を参考とする。
- (6) 本年は、高温傾向が続いていることから出穂期が平成よりも早まる可能性がある。各ほ場の生育状況に応じて、適期防除に努める。

表1 斑点米カメムシ類の畦畔すくい取り（ネット20回振）による捕獲状況（6月下旬）

調査 地点数	捕獲地点率			1地点当り 平均捕獲頭数			斑点米カメムシ類の捕獲頭数(捕獲割合(%))							
	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)	計	アカヒゲホ ミドリカスミ カメ	アカスジカ ミカメ	ホソハラ カメシ	トゲシ ホソカメ シ類	アカヒメ リカメシ	コハネホ ウツナガ カメシ	
東信	15	80.0	43.7	183.1	2.3	1.5	160.7	35	23	8	0	4	0	0
南信	15	80.0	56.5	141.5	8.2	3.6	230.3	123	83	27	8	2	2	1
中信	18	88.9	60.5	146.9	29.3	6.6	441.6	527	279	223	19	2	4	0
北信	14	85.7	62.1	138.0	5.6	4.2	134.0	79	50	22	7	0	0	0
県全体	62	83.9	54.9	152.7	12.3	4.4	279.4	764(100)	435(56.9)	280(36.6)	34(4.5)	8(1.0)	6(0.8)	1(0.1)

注1) 調査方法：畦畔においてすくい取り（ネットを20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査

注2) 捕獲地点率(%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

注3) 1地点当り捕獲数：捕獲数計（成虫数＋幼虫数）÷調査地点数

注4) 平年：平成27年～令和6年の平均値

表2 斑点米カメムシ類の本田すくい取り（ネット20回振）による捕獲状況（7月上旬）

調査 地点数	捕獲地点率			1 地点当り 平均捕獲頭数			斑点米カメムシ類の捕獲頭数(捕獲割合(％))						
	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)	計	アカスジ ミカメ	アカヒゲ ミドリカ ミカメ	ホソハラ ミシ	アカヒメ カメムシ	トゲシホ シカメム シ類	
東信	15	93.3	41.2	226.4	2.4	1.3	192.0	36	1	35	0	0	0
南信	15	46.7	28.9	161.4	1.5	0.6	257.9	22	0	12	10	0	0
中信	18	61.1	42.1	145.2	15.9	1.2	1285.5	287	189	81	12	4	1
北信	14	85.7	39.8	215.4	2.2	1.3	166.2	31	2	29	0	0	0
県全体	62	69.4	38.2	181.6	6.1	1.1	545.9	376(100)	192(51.1)	157(41.8)	22(5.9)	4(1.1)	1(0.3)

注1) 調査方法：本田においてすくい取り（ネットを20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査

注2) 捕獲地点率(%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

注3) 1地点当り捕獲数：捕獲数計（成虫数＋幼虫数）÷調査地点数

注4) 平年：平成27年～令和6年の平均値

表3 予察灯による誘殺消長

【アカヒゲホソミドリカスミカメ】									【アカスジカスミカメ】							
月・半月	上田市中野		伊那市美篁		南木曽町田立		須坂市八重森		上田市中野		伊那市美篁		飯田市上郷		須坂市八重森	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半月	1	1.3	0	0.2	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.5	0	0.1	0	0.0
2半月	22	3.8	0	0.2	0	0.5	3	3.1	0	0.2	0	0.5	0	0.1	3	0.1
3半月	39	14.8	0	1.1	0	2.3	3	6.2	6	0.0	2	0.1	0	0.2	3	0.0
4半月	145	18.3	11	4.0	0	3.9	36	2.7	28	0.0	3	0.0	12	0.1	4	0.0
5半月	123	49.0	15	7.4	0	6.9	20	11.3	12	0.0	1	0.0	21	0.1	10	0.0
6半月	145	88.9	16	21.7	0	9.2	35	15.3	68	0.4	1	0.0	16	1.0	20	0.5
7月1半月	118	64.7	41	29.5	41	8.2	80	22.4	62	0.9	4	0.2	9	1.6	5	0.4
計	593	240.8	83	64.1	41	31.0	178	61.7	176	1.5	11	1.3	58	3.2	45	1.0
平年比(%)	246		129		132		288		11,733		846		1,832		4,500	

注) 平年：平成27年～令和6年の平均値



図1 アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫（体長5～6 mm）



図2 アカスジカスミカメの成虫（体長5～6 mm）

（問合せ先）

担 当 病害虫防除部 近藤、藤沢
電 話 026-248-6471
ファクシミリ 026-248-6473
電子メール bojo@pref.nagano.lg.jp